

病害虫情報 No.5

ハクサイ，キャベツ，ダイコンなどアブラナ科野菜の害虫

ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の発生が多くなると予想されます。発生初期に防除しましょう！

[現在の状況]

8月上旬現在，笠間市で実施している誘致植物（クレオメ）を用いた発生予察調査において，ハイマダラノメイガ幼虫の寄生株率は，過去3年間で最も高く推移し，8月第2半旬には100%に達した。過去2年と比較して発生時期は早く，発生量も多い（図1）。

クレオメ：フウチョウソウ科の草花で，ハイマダラノメイガが好んで寄生する植物
那珂市の現地キャベツ圃場において，8月第2半旬の調査で幼虫の寄生を確認した。
本虫は，夏季が高温少雨の年に多発する傾向がある。気象予報（8月4日発表）によると，向こう1か月の気温は平年並が高いと予想され，本虫の発生を助長する条件である。

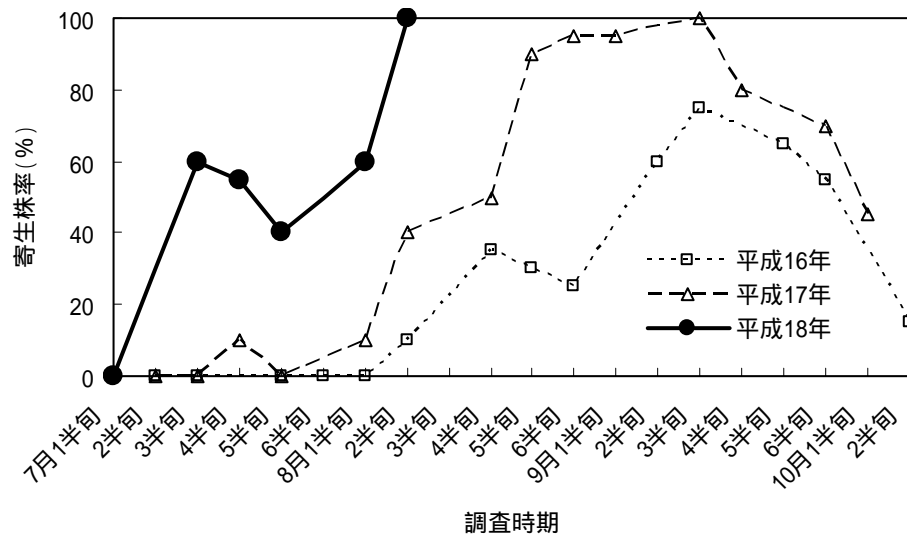


図1 クレオメにおけるハイマダラノメイガ幼虫の寄生株率の推移（笠間市）

[防除対策]

本虫は，アブラナ科野菜の育苗期や本圃の初期に，幼虫が生長点付近を加害する。幼苗期に加害されると芯止まりになるので，早期発見，早期防除に努める（防除薬剤は表1を参照）。

成虫の予想発生ピークは8月下旬～9月上旬になるので，この時期に育苗や定植を行うアブラナ科野菜は特に注意する。また，その後も10月上旬頃までは発生が続くので，引き続き注意する。

苗床は，防虫ネットなどで覆い，成虫の侵入を防ぐ。

薬剤散布の際は，農薬使用基準を守るとともに，周囲への飛散（ドリフト）に十分注意する。

表1 ハイマダラノメイガに登録のある主な薬剤（平成18年7月31日現在）

系統名	薬剤名 (有効成分名)	作物名					
		ハクサイ	ダイコン	キャベツ	カリフラワー	ブロッコリー	カブ
ネオニコチノイド	モスピラン粒剤 (アセタミプリド)						
有機リン	エルサン乳剤 (PAP)						
	ディフテックス乳剤 (DEP)						
	DDVP 乳剤 75 (DDVP)						
BT	エスマルク DF (BT)						
IGR	マッチ乳剤 (ルフェノロン)						
	マトリックフロアブル (クロマフェノジド)						
その他	アファーム乳剤 (イマクチン安息香酸塩)						
	スピノース顆粒水和剤 (スピノサド)						
	トルネードフロアブル (インドキサカルブ MP)						
	ハチハチ乳剤 (トルフェンピラド)						
	プリンスフロアブル (フィプロニル)						
	プレオフロアブル (ピリダリル)						

農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法、注意事項等を確認のうえ使用して下さい。特に、作物名の分類については間違いやすいので十分注意してください。